

「孕めッ孕め！  
俺様の特濃種汁で孕めえええッ！！」

「んぐッ！！」

「初物ま●こに無理矢理種付け……ッ  
くお……すげ……腰溶け……る……」

「う……ぐ……  
ひいぐ……う……」

「たえちゃん  
ガチ泣きしてんじゃん  
ちゃんと気持ち良くしてやれよ(笑)」





「たえちゃん次オレね  
ほらほらどうつよオレのち●ぽ?♡」

「…ツ!?!」

「おお…お…  
射精…止まら…ねえ…ツ」

「ゴメンなたえちゃん  
こいつ下手くそで(笑)  
オレはちゃんと気持ち良くしてやっから♡」

「い…あ…」





「おい！次は俺だろ  
順番無視してんじゃねえよ」

「ひいッ!!」

「へへッ良い表情するじゃねえか  
こいつでたえちゃんの  
ま●こたっぷり可愛がってやるからな♡」

「や…あ…  
い…あ…」





—数時間後—

「おらいけッイけ!!  
大好きな子宮口責めだぞッ!!」

「あッ♡あッアアあッ♡  
おぐッひゃ♡ひゃあぁあッ♡」

「クソ…も…う…ッ」

たえ射精すぞッ射精すぞ!!  
種付けでアへらしてやるッ!!

「ひゃめッひゃめ♡  
溶げるッひゃねづげとげるッ♡」

「ぐおおッ孕めッたえ孕め!  
俺様のガキ孕めえええッ!!」

「ひぁあッ♡  
イぐっひいぐっうッ♡」

「ふう…ふう…  
たえま●こ最高う…」

「あ…♡  
あ…♡」

「次行けたえちゃん  
まだいき足りないだろ?(笑)」

「あ…♡ヒィんッ!!  
あッ♡やあッ♡あッ♡アアアッ♡」

















